NIE実践報告

1．タイトル：**新聞の写真を使って詩をつくろう**

2．学校名

大阪府大阪市立海老江東小学校

3．実践者名（代表者名）

田内智恵

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　20人

6．単元（本時の学習課題）名

「詩をつくろう」

7．目標（狙い）

新聞の写真から思い浮かんだ言葉や感じたことを短い言葉で表現し、詩をつくる。また作った詩を交流し合う。

8．評価の視点

自分が気にいった新聞の写真をもとに感じたことを工夫して詩的に表現することができたか。また、作品を発表し合い、お互いの作品の良さを交流することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「詩を書こう」（教科書教材：学校図書）7時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①教材文を読み学習全体のめあてをもつ。いろいろな詩を読み、詩の世界の楽しさをあじわう。（1時間）
②詩をつくる題材である新聞の写真をスクラップする。（2時間）
③スクラップしたものの中で、気に入った写真に見出し（写真の題名）をつけ、写真から思い浮かぶ短い言葉をワークシートに箇条書きにする。（1時間）
④詩をつくる。（1時間）
⑤詩の発表会をする。（2時間）

（留意点）
・詩をつくる題材を新聞の写真や記事とするので、子どもたちが記事の内容を理解できるよう助言する。
・感じたことを短い言葉で表現するように工夫させる。
・発表会では、お互いの作品の良いところを見つけ、交流させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞の写真から自由にイメージをふくらませ、楽しく詩をつくることができた。また、友だちの作品の良いところを積極的に見つけ、交流し合うことができた。

12．成果と課題

新聞の写真を題材にすることで、季節感あふれる詩や今まであまり題材にしたことのない詩をつくることができた。また、発表会ではどうしてその写真を選んだのかという説明を加えることで、自分がつくった詩への思いを友だちに伝えることができた。課題としては、写真から受けるイメージだけで詩をつくったので、記事の意図するところと違う詩もあった。今後は、写真・記事どちらも生かせるような活動にしていきたい。